

ひまわりのたね

平成25年11月号 No.41

(奇数月発行)

ひまわりのたね 編集部
港区ボランティアビューロー内

大阪市港区社会福祉協議会 港区ボランティアビューロー 〒552-0007 港区弁天2-15-1 TEL06-6575-1212 FAX06-6575-1025

ひまわりのたね は
おかげさまで 6周年! 
ボランティアぼしゅう 

ちびっこ見守り隊

- ① 保育園の送迎時間の見守りボランティア
- ② (月)～(金) 8:30～9:30と17:00～18:00
- ③ 1) 波除学園(波除5-4-7)
2) 安治川保育園(波除1-6-6)
- ④ 性別・年齢・経験問わず
- ⑥ ちびっこたちとの朝夕の
あいさつから元気がもらえます!!

ポスティングスタッフ

- ① 「ひまわりのたね」のポスティングや
発送作業をお手伝いしてくださる方
- ② 奇数月の中旬～下旬にかけて
- ③ 港区ボランティアビューロー、港区全地域
- ④ 性別・年齢・経験 問わず
- ⑥ さまざまなお話をしながら、楽しく活動しています

ひまわり デイサービスボランティア

- ① 1) お話し相手やお茶入れなどのお手伝いして下さる方
2) 折り紙、簡単な工作・手芸を教えてください
- ② 平日 10:00～15:00 (お好きな日の数時間で結構です)
- ③ 在宅デイサービスセンターひまわり(弁天2-15-1)
- ④ 性別・年齢・経験 問わず
- ⑥ みな和気あいあいと楽しく過ごしています
ご参加をお待ちしています

リサイクル品を回収しています!

ご協力をお願いします

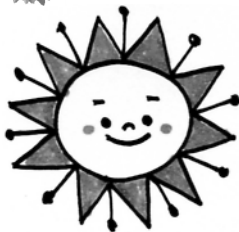
- ① 「牛乳パック」「プルトップ」
「ペットボトルキャップ」を回収
「牛乳パック」は区内の聴覚障害者施設へ
「プルトップ」はボランティアグループへ
「ペットボトルキャップ」は一般財団法人へ
それぞれ渡し活用されます
- ② (月)～(金) 9:00～17:30
- ③ 港区社会福祉協議会 ひまわり 1 階
(港区弁天2-15-1)

港区ボランティアビューロー

TEL06-6575-1212

(担当: 荻野)

- ①内容 ②活動日時 ③活動場所 ④条件 ⑤問合先
⑥その他 ※⑤が記載されていないものは港区
ボランティアビューローへお問い合わせをください



♪ 新規登録グループをご紹介します ♪

おもちゃ図書館 ひまわり

おもちゃ図書館とは「障がいのあるお子さんたちにおもちゃの素晴らしさと楽しさを」との願いから始まったボランティア活動です。毎月第3土曜日13:30～15:30、港区民センター2階 橋のお部屋で開催しています。ママたちにとってもリフレッシュや情報交換ができる、あたたかでやわらかな場所を目指しています。仲間がひとりでも多く増えたら嬉しいです。気軽にのぞいてみてください。



オープニングイベントの様子

講演会 第11回 みなとこころの講座 「大人が変われば子どもも変わる」

参加費無料

「傷ついた子どもの心を受け止め、健康な心の発達を守ってやる。そういう大人が一人いれば、子どもは変わっていただけるのです」
第11回は発達障がいに関心をもち、社会の宝である子どもたちのため私たち大人は何ができるのかを考えます

日 時：平成25年12月7日(土)午後1時20分～3時30分(受付：午後1時開始)

場 所：港区民センター1階ホール(港区弁天2-1-5 最寄駅：JR弁天町)

講 演：定本ゆきこ氏 法務技官・精神科医

※シンガーソングライターの越野翔子氏のミニコンサートと

障がい者アーティスト 橋爪栄氏・西脇直毅氏・芝崎絵里氏の絵画展も同時開催

対 象：大阪市内に在住・在勤・在学の方

定 員：150名

締 切：12月2日(月) ※手話が必要な方はお申し出ください



南市岡育ちの越野翔子さんが
自作の詩でみなさまに元気をお届けします

申込み・問合せ

港区社会福祉協議会(担当：おぎの)まで電話・FAX・メール・はがきで住所・連絡先・氏名をお知らせください

TEL 6575-1212・FAX 6575-1025 メール minvb@osakacity-vnet.or.jp

※申し込み時に知り得た個人情報は、当講座に関する連絡のみに利用します

「広がれ！ご近所の支え合い」池島南住宅「お茶会」を訪ねて

開催日：毎月第4日曜日



池島南住宅「お年寄り見守り隊」

昨今、池島南住宅は、居住者の高齢化が進み“引きこもり”の人たちも多く、隣の関係も希薄な状況となりつつありました。そこで、団地内有志の方々が立ち上がり「お年寄りの見守り隊」を結成し、1年前から月1回「お茶会」が開催されています。お茶しながら「よもやま話」やカラオケ・健康体操などを行い、お互いに絆を深めておられます。

お世話されている皆さんは老若男女問わず一人でも多くの人が自然に集まり気軽に楽しめ、「脱孤独の輪」「皆で知る絆の輪」を広げたいとの思いを大切に、奮闘されています。高齢化が進むなか、このような試みがさまざまな場所で開催され“孤独”という言葉が地域からなくなるようにしたいものです。向こう三軒両隣、大切にしたいものですね。(佐)



この人にスポット？

ボランティアビューローにはさまざまなボランティアさんが登録し、活動しています
今回は「ひまわりのたね」編集部で活躍中の佐下橋勝義さんにインタビュー☆

Q. 何のボランティアをされていますか？

- A. ① ひまわりのたね編集部
② 港区福祉関係などのイベント手伝い
③ 大阪マラソン等の体育会系
④ 大阪歴史博物館ガイド など

Q. していて良かったと思うことは？

- A. ① 多くの人との出会いで喜びなどを分かち合い元気を貰う
② 知らないことを知る喜び。まだまだ勉強と思うこと

Q. きっかけは？

- A. ① 障がい者の体育会を観戦したときの感動から
② 知らないことの勉強をしたさに

Q. あなたにとってボランティア活動って？

- A. ① 好きなことをしながら生きている証を見つける
② 健康維持の源(話す・聞く・笑う・悲しむ…など)

左端が「ひまわりのたね」編集部の佐下橋さん



雑記

この夏は暑い日が続きました。冬も寒いとの予報ですね。自分の身体は自分で守り、家族に迷惑をかけないようにしたいものです。

このごろは「自分さえよければ」という考えの人が多そうですが、それでは心身にとって本当の意味での健康とはいえません。人の事も心に留めてこそ「健康」といえるのではないのでしょうか。ボランティアもいいですよ。初めて出会う方とお互いのことを話し合うだけでも健康になります。(峯)